

# 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L13(2024-05-24 Fri)

最終更新: Time-stamp: "2024-05-25 Sat 10:01 JST hig"

## 今日の目標

- 行列の和差逆スカラー倍を含む計算ができる
- 平面の 1 次変換による直線の像を, パラメタ表示と方程式で求められる
- 正射影を表す行列を求められる



## L12-Q1

Quiz 解答: 転置の積の成分表示

 ${}^tA = [b_{ji}]$  とすると,  $b_{ji} = a_{ij}$ .

- ①  $\sum_{k=1}^n a_{ik}a_{kj}$
- ②  $\sum_{k=1}^n a_{ki}a_{kj}$
- ③  $\sum_{k=1}^n a_{ik}a_{jk}$

## ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影



## 転置の逆, 逆の転置

$({}^tA)^{-1} = {}^t(A^{-1})$  は成立するか?

**アドバイス** 難しい問はまず 2 次行列や例で考えてみる. 反例が見つかったらもうけもの.

## ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影

## 写像の像

$\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$  について, 2 次正方行列  $A$  で表される 1 次変換  $f$  による像を  $\boldsymbol{x}' = f(\boldsymbol{x}) = A\boldsymbol{x}$  とする.

移動前  $\boldsymbol{x}$ , 移動後  $\boldsymbol{x}'$ .

点でなく部分集合についての定義.

定義 (写像による部分集合の像 加藤 線形代数 p.191)

$f: X \rightarrow Y$  を写像とする. 部分集合  $S \subset X$  について,  
 $f(S) = \{f(x) | x \in S\} \subset Y$  を, 写像  $f$  による  $S$  の像という.

「 $S$  は  $f$  で  $f(S)$  に写る」

## 正方形・平行四辺形の像

$\mathbb{R}^2$  の部分集合

$$\begin{aligned} S &= \left\{ \begin{bmatrix} s \\ t \end{bmatrix} \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R} \right\} \\ &= \left\{ \mathbf{e}_1 s + \mathbf{e}_2 t \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R} \right\} \end{aligned}$$

は,  $\mathbf{0} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{e}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{e}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$  を 4 頂点とする正方形.

## 正方形の像

正則行列  $A$  で表される 1 次変換  $f$  による, 正方形  $S$  の像は?

$$\begin{aligned} f(S) &= \{A(\mathbf{e}_1 s + \mathbf{e}_2 t) \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R}\} \\ &= \{A\mathbf{e}_1 s + A\mathbf{e}_2 t \mid 0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1, s, t \in \mathbb{R}\} \end{aligned}$$

これは,  $\mathbf{0}, A\mathbf{e}_1, A\mathbf{e}_2, A\mathbf{e}_1 + A\mathbf{e}_2$  を 4 頂点とする平行四辺形 ( $A\mathbf{e}_1$  と  $A\mathbf{e}_2$  が張る平行四辺形)

実は, 平行四辺形の像も平行四辺形

実は  $A$  が正則行列であるなら  $A\mathbf{e}_1, A\mathbf{e}_2$  は平行にならない (正方形はつぶれない).  $A$  が正則でないなら正方形は直線や 1 点につぶれる

## パラメタ表示された直線の像

$\boldsymbol{x} = \boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c}$  ( $t \in \mathbb{R}$ ) とパラメタ表示される直線の, 行列  $A$  で表される 1 次変換  $f$  による像は? ( $\boldsymbol{a}$  接ベクトル,  $\boldsymbol{c}$  直線上の点)

移動前の点  $\boldsymbol{x}$  が上のパラメタ表示で書ける.

移動後の点  $\boldsymbol{x}' = A\boldsymbol{x}$ .  $A$  が正則行列なら, **左から**  $A^{-1}$  をかけて  $A^{-1}\boldsymbol{x}' = \boldsymbol{x}$ .

これをパラメタ表示に代入して,  $A^{-1}\boldsymbol{x}' = \boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c}$ .

両辺に**左から**  $A$  をかけて,  $\boldsymbol{x} = (A\boldsymbol{a})t + (A\boldsymbol{c})$  ( $t \in \mathbb{R}$ ).

## 命題 (直線の 1 次変換による像のパラメタ表示)

直線  $x = at + c$  の, 行列  $A$  の表す 1 次変換による像のパラメタ表示は

$$x = (Aa)t + (Ac) \quad (t \in \mathbb{R})$$

$Aa \neq 0$  のとき, これは直線.

$A$  が正則のとき, 1 次変換で直線は直線に写る

接ベクトル  $a$  は  $Aa$  に写る.

「通る点」  $c$  は  $Ac$  に写る.

## L13-Q1

## Quiz(パラメタ表示された直線の 1 次変換による像)

パラメタ表示

$$\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 0 \\ 3 \end{bmatrix}, \quad t \in \mathbb{R}$$

をもつ  $\mathbb{R}^2$  の直線  $l$  を考える.

- ① 直線  $l$  を描こう.
- ② 直線  $l$  上の点を 2 つ見つけよう ( $\boldsymbol{x}_1, \boldsymbol{x}_2$  とする).
- ③ 行列  $A = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$  で表される 1 次変換  $f$  による  $l$  の像のパラメタ表示を求め、描こう.
- ④ 像  $f(\boldsymbol{x}_1), f(\boldsymbol{x}_2)$  を求めよう.

mobius K1.3.60



## 直線の 1 次変換による像の方程式

方程式  $\mathbf{n} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{c}) = 0$  で表される直線の, 行列  $A$  の表す 1 次変換による像は? ( $\mathbf{n}$  法線ベクトル,  $\mathbf{c}$  直線上の点)

まず内積をやめて転置を使って行列で書く.  $\mathbf{n} \cdot \mathbf{c} = {}^t\mathbf{n}\mathbf{c}$ .

$${}^t\mathbf{n}(\mathbf{x} - \mathbf{c}) = 0$$

移動前の点  $\mathbf{x}$  が上の方程式にしたがう. ( $A$  が正則行列なら)  $\mathbf{x} = A^{-1}\mathbf{x}'$ .  
これを代入し,  $E = A^{-1}A$  で細工して

$${}^t\mathbf{n}(A^{-1}\mathbf{x}' - (A^{-1}A)\mathbf{c}) = 0$$

$${}^t\mathbf{n}A^{-1}(\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

$${}^t({}^t(A^{-1})\mathbf{n})(\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

$$({}^t(A^{-1})\mathbf{n}) \cdot (\mathbf{x}' - A\mathbf{c}) = 0$$

## 命題 (直線の 1 次変換による像の方程式)

直線  $(\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{n} = 0$  の, 行列  $A$  の表す 1 次変換  $f$  による像は,  $A$  が正則のとき,

$$({}^t(A^{-1})\boldsymbol{n}) \cdot (\boldsymbol{x} - A\boldsymbol{c}) = 0.$$

これは直線.

## 1 次変換で直線は直線に写る

法線ベクトル  $\boldsymbol{n}$  は  ${}^t(A^{-1})\boldsymbol{n}$  に写る.

「通る点」 $\boldsymbol{c}$  は  $A\boldsymbol{c}$  に写る.

## L13-Q2

## Quiz(方程式で定まる直線の 1 次変換による像)

方程式

$$\begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} \cdot (\boldsymbol{x} - \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}) = 0$$

で定まる  $\mathbb{R}^2$  の直線  $l$  を考える.

- ① 直線  $l$  を描こう.
- ②  $l$  上の点を 2 つ見つけよう ( $\boldsymbol{x}_1, \boldsymbol{x}_2$  とする).
- ③ 行列  $A = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$  で表される 1 次変換  $f$  による  $l$  の像の方程式を求めよう.
- ④ 像  $f(\boldsymbol{x}_1), f(\boldsymbol{x}_2)$  を求めよう.

mobius K1.3.60



## ここまで来たよ

12 転置行列・正則行列 | 第 1 章 行列の概念

13 1 次変換による直線の像 | 第 1 章 行列の概念

- 逆行列と転置行列
- 第 0 章 4'. 1 次変換による像
- 1 次変換としての正射影

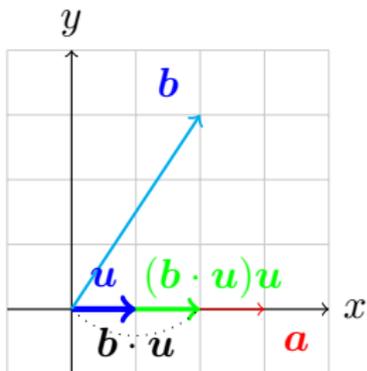
## ベクトル $b$ のベクトル $a$ への正射影ベクトル

ベクトル  $a, b$  のなす角を  $\theta$ ,  $a$  と同じ向きの単位ベクトル  $u_a = \frac{1}{|a|}a$ .

### 定義 (スカラー射影と正射影ベクトル)

ベクトル  $b$  の  $a$  へのスカラー射影とは実数  $b \cdot u_a = |b| \times 1 \times \cos \theta$ . ( $b$  の,  $a$  向き成分ともいう).

ベクトル  $b$  の  $a$  への正射影ベクトル (正射影) とは  $(b \cdot u_a)u_a = (|b| \times 1 \times \cos \theta)u_a$ .



## L13-Q3

## Quiz(正射影ベクトルを与える 1 次変換を表す行列)

ベクトル  $\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$  に対して,  $\boldsymbol{a} = \begin{bmatrix} 3 \\ 4 \end{bmatrix}$  への正射影ベクトルを対応させる変換  $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$  は 1 次変換か. 1 次変換なら,  $f$  を表す行列を求めよう.

mobius K1.3.65

## 定義 (正射影)

ベクトル  $\boldsymbol{x} \in \mathbb{R}^2$  に対して、 $\boldsymbol{a} (\neq \mathbf{0})$  への正射影ベクトルを対応させる 1 次変換  $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$  を、ベクトル  $\boldsymbol{a}$  への正射影という。

直交射影ともいう。

本当は、 $\mathbb{R}^n$  で、直線、平面、 $m$  次元部分空間への正射影が定義されるが、ここではこのタイプに限定する。

## 命題 (正射影の性質)

$\mathbb{R}^2$  で、

- 正射影の値域は、原点を通り  $\boldsymbol{a}$  に平行な直線
- 正射影は単射でも全射でもない
- 正射影を表す行列は正則でない

## 正射影を表す行列

$f$  を  $\mathbf{a}$  への射影とする.

$\mathbf{b}$  の,  $\mathbf{a}$  への正射影ベクトルは,

$$\begin{aligned} f(\mathbf{b}) &= (\mathbf{b} \cdot \mathbf{u}_a) \mathbf{u}_a \\ &= \mathbf{u}_a (\mathbf{u}_a \cdot \mathbf{b}) \\ &= \frac{1}{|\mathbf{a}|^2} \mathbf{a} (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) \\ &= \frac{1}{{}^t \mathbf{a} \mathbf{a}} \mathbf{a} {}^t \mathbf{a} \mathbf{b} \end{aligned}$$

これは行列の積と見なせる.

$\mathbf{a}$  への正射影  $f$  を表す行列は,  $\frac{1}{{}^t \mathbf{a} \mathbf{a}} \mathbf{a} {}^t \mathbf{a}$

## L13-Q4

## Quiz(正射影ベクトルを与える 1 次変換を表す行列)

ベクトル  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} -2 \\ 0 \end{bmatrix}$  への正射影ベクトルを与える 1 次変換を  $f$  とする.

- ①  $f$  を表す行列を求めよう.
- ②  $f^{-1}$  は定義されるか? 定義されるなら  $f^{-1}$  を表す行列を求めよう.